



①② 昨年の収穫の様子。市内では若宮地区や西多田地区、石道地区などで栽培されている③ 即売会では、「銀寄」をサイズごとに分けて販売④ 昨年は品評会で上位に入賞した栗を競り形式で販売した⑤ 栗のつかみ取りは老若男女問わず人気で、毎年行列ができる



北摂栗の収穫が最盛期 秋を感じる上品な甘み 大粒の栗の王様

川西特産の旬の味覚「銀寄」
10月5日には即売会を開催

長年にわたり愛されてきた味

市の特産品である「北摂栗」。その歴史は古く、北摂地区では1,000年以上前から栽培されていたといわれます。朝廷や幕府の将軍も口にするとされており、大正時代には、日本で初めて海外へ輸出するなど、その名を世界へと響かせていました。

しかし、昭和60年代からの住宅開発による耕作面積の縮小や生産者の高齢化などにより、生産量は減少していました。それに歯止めをかけようと、川西市と宝塚市、猪名川町の生産者が力を合わせ、平成17年に「北摂栗生産者連絡協議会」を結成。北摂栗のブランド化を進めるため、即売会や品評会などを行っています。昨年は約130人の生産者が計約15.6トンを出荷。市内では、年間で約3.5トンを出荷しています。

北摂発祥の「銀寄」

北摂栗の種類は10種類ほどあるといわれていますが、大

1,000年以上前から栽培されてきた北摂栗。9月下旬から10月上旬にかけて収穫の最盛期を迎えています。中でも「銀寄」は栗の最高品種と位置付けられ人気。旬の味覚を堪能してみませんか。

大きさや形、味の良さといった点から、市内の生産者の多くは「銀寄」を主力品種として栽培しています。

「銀寄」は、北摂地区で誕生。栗の最高品種と位置付けられていて、実がふっくらとして大きく、非常に甘い「栗の王様」と呼ばれています。

最近では品種改良が進み、渋皮がむきやすく食べやすい「ぼろたん」といった新しい種類の栗も栽培されています。

「銀寄」の即売や栗のつかみ取りなど 特産北摂栗の即売会

10月5日(金) 午前10時から ※売り切れ次第終了
会場 アステ川西ぴいぷう広場

北摂栗生産者連絡協議会が、北摂栗の即売会やつかみ取りなどを行います。

JA兵庫六甲阪神営農総合センター ☎(773)5177

CHECK & QUIZ

次の空欄(○の中)を埋めてください。
1:特集 コラボで○育て 2:里○の秋を味わう

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、10月10日(水)(消印有効)までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。
※9月号の正解は(ブ)(病)で、85件の応募がありました。



8月末現在の人口

男……………74,955人 (-14)
女……………83,317人 (-35)
計……………158,272人 (-49)
世帯数…69,772世帯 (+25)